

千住消防団だより

第83号
編集・発行
千住消防団編集委員会
印刷：株式会社SGネクストホールディングス

令和7年度総合震災消防訓練の実施

令和7年11月29日（土）に令和7年度総合震災消防訓練が行われました。この訓練は、朝8時00分に地震が発生したとの想定で、足立区千住龍田町にある龍田町防災ひろばに各分団が参集、小池消防団長からの訓練開始命令で、訓練を4つのパートに分け、救出

救護訓練、ホースバックによるホース延長訓練、積載車による狭隘路通過訓練及び赤信号交差点通過訓練をそれぞれ行いました。

参集訓練では、自宅や仕事場、学校から参集中に災害を発見したことを想定して、自らの携帯電話から早期災害情報システムを使用して画像等の情報を千住署隊本部に伝送する訓練を行いました。



千住消防団本部では、千住消防署の震災図上訓練と連携して、分団毎に配置されているMCA無線機を活用して、無線通信での情報伝達を行いました。今回の訓練では実戦的な連携を主眼とし出場から現場、現場から帰団するまでの一連の流れを消防団員全員で確認をしました。



令和8年千住消防団始式を実施

令和8年1月18日（日）に、千住消防団始式が、東京芸術センター21階「天空劇場」において、大勢の来賓の方々が見守る中、厳粛に挙行されました。式典は消防総監賞の授与をはじめ、成績優良団員の表彰などが行われました。また、来賓の紹介において、担当分団区域ごとに町会・自治会長の紹介も行われ、消防団とのさらなる連携を再認識することができました。式典最後に新入団員の紹介が行われ、頼もしくも初々しい姿を来場者に披露することができました。

新年を迎えて心新たに使命感に燃える団員の士気を更に高め、地域の皆様への消防団のご理解とご協力を深めていただくという目標を達成することが出来ました。



千住消防団年末年始消防特別警戒を実施

令和7年12月1日（月）から令和8年1月3日（土）までの間、千住消防団受持区域全域で年末年始消防特別警戒に伴う巡回警戒、初詣警戒を実施しました。警戒活動は、夜間長時間にわたるなか、各分団とも情報収集体制を強化し、災害への即応体制を保持するなど、緊張感を持って行いました。

また、令和7年12月30日（火）には、千住消防署長及び千住消防団長による各分団への激励が行われ、警戒に対して、各団員は改めて万全をつくすことを心に誓っていました。



北千住駅周辺での団員募集活動

北千住駅周辺において、令和7年12月6日（土）に令和7年度防犯・防火駅頭キャンペーンが、令和8年1月9日（金）に千住警察署とコラボした広報活動が開催されました。2日間で、本団1名、第一分団5名、第二分団5名、第四分団5名、第七分団1名の計17名が参加し、住宅防火対策の呼び掛けや消防団員の募集についての広報活動を実施しました。



千住消防団の副団長就任挨拶

団本部 副団長 星 仁
 令和7年11月1日付で辞令を受け、団本部副団長という大任を仰せつかりました。

伝統ある千住消防団の重責を担うことで、身の引き締まる思いです。本団での役割としては、経理・会計・設備資材その他の物品の管理に関する担当となります。

団活動としては、現場の声を大切にしながら団長を支え、団員全員が活動しやすい環境を整えることだと考えております。

皆で頑張ってお活動していきましょう。

団本部 副団長 成田 一司

令和8年1月19日付で、団本部副団長に就任致しました。消防団員としての活動もまもなく40年になります。これまでは第6分団として担当する地区の町会・自治会の皆様と共に地域の安心安全を守ってまいりましたが、これからは千住消防団管轄全体の防災リーダーとして災害に備えた活動を行うっていく所存です。

私が所属していました第6分団も人員不足が課題になっていきますが、昨年末若くてパワフルな男性団員2名が入団し、これからの活躍が期待される所です。団員確保にはこれからも注力していきたいと思っております。消防団活動で必要なことがありましたら遠慮なく申し付けください。今まで通り出来る限りの協力はしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

幹部コラム

団本部 副団長 草柳直正

新しい年を迎えまして、1月は消防出初式、消防団始式と本年も消防団の諸活動が始まりました。各分団におかれましても、各地域で諸活動の推進を担って頂き、大変お疲れ様です。さて、今から5〜6年前に発生しました新型コロナウイルス感染症のピークが、今のところやや落ち着いてきているとはいえ、医療機関ではワクチン接種を行うなど、まだまだ油断できない危険な感染症だと思います。それと例年、冬に流行するインフルエンザ症状も発熱を伴い、また新型コロナウイルス感染症の症状も発熱があるため、一見どちらの感染症なのか、素人には見分けがつかないものでございます。そのため感染予防として手洗いやうがい、励行のほか、マスクの着用は大衆の面前や日常生活をする上で必需品である一方で、どうしても外さなければならぬ時やつけなければいけない時もあり、面倒な気持ちです。

今後世界中で感染撃滅が叶う取り組みに日々期待する思いでございますが、あわせて間もなく春の訪れとともに誰もが気分一新で消防団活動が出来ればと思う今日この頃です。

分団だより

第6分団 副分団長 須永 光

昨年より副分団長となり身の引き締まる思いです。6分団の皆様と協力して団活動を頑張っていきたいと思っております。

昨年より団員募集に力を入れSNSやポスター作成等を行い2名が入団されました。いろんなことに興味を持って団活動にどんどん参加してほしいです。

また、本年より分団長も新しく代わり、私達第6分団は一致団結して団活動に励んでいきたいです。

編集後記

第7分団 副分団長 宇井 純治

今冬は日本海側を中心に記録的な大雪となり、雪下ろしや交通障害など雪害への警戒が続いています。一方で太平洋側では雨が少なく空気の乾燥が続き各地で火災が多発しています。同じ日本にいながら地域によって全く異なる自然環境と向き合う状況となっています。乾燥した季節は

ほんの小さな火種が大きな火災につながりかねません。火の取り扱いへの注意はもちろん日頃からの防火意識がこれまで以上に大切な時期です。私達消防団も地域の安全を守るため改めて気を引き締めて活動に取り組んでまいります。

皆様一人ひとりの心がけが火災の無い町作りにつながります。寒さの厳しい日が続きますがどうぞ体調管理にも気を付けてお過ごし下さい。



消防団員募集

入団資格

18歳以上の健康な方

消防団の区域に居住・勤務・通学している方

<https://tokyo23city-syobodan.jp/>

東京消防団

詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

0120-119-588

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。